【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年11月8日(2022.11.8)

【国際公開番号】WO2020/128673
【出願番号】特願2020-560633(P2020-560633)
【国際特許分類】
Ｇ０５Ｆ　1/56(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０５Ｆ　1/56　３１０Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月28日(2022.10.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
オペアンプ回路と、第１のトランジスタと、第２のトランジスタと、第３のトランジスタと、容量素子と、を有し、
前記オペアンプ回路の出力端子は、前記第１のトランジスタのソース又はドレインの一方と電気的に接続され、
前記第１のトランジスタのソース又はドレインの他方は、前記第２のトランジスタのゲートと電気的に接続され、
前記第３のトランジスタのソース又はドレインの一方は、前記第１のトランジスタのソース又はドレインの他方と電気的に接続され、
前記第３のトランジスタのソース又はドレインの他方は、前記第２のトランジスタのゲートと電気的に接続され、
前記容量素子の一方の電極は、前記第３のトランジスタのソース及びドレインと電気的に接続されている半導体装置。
【請求項２】
請求項１において、
前記第２のトランジスタのソース又はドレインの一方は、前記オペアンプ回路の入力端子と電気的に接続されている半導体装置。
【請求項３】
請求項１又は２において、
前記第１のトランジスタのゲートには、第１の信号が供給され、
前記第３のトランジスタのゲートには、第２の信号が供給され、
前記第１の信号と、前記第２の信号と、は互いに相補的な信号である半導体装置。
【請求項４】
オペアンプ回路と、第１のトランジスタと、第２のトランジスタと、第３のトランジスタと、第４のトランジスタと、第５のトランジスタと、容量素子と、電流源と、を有し、
前記オペアンプ回路の出力端子は、前記第１のトランジスタのソース又はドレインの一方と電気的に接続され、
前記第１のトランジスタのソース又はドレインの他方は、前記第２のトランジスタのゲートと電気的に接続され、
前記オペアンプ回路の第１の電源端子は、前記第３のトランジスタのソース又はドレインの一方と電気的に接続され、

前記オペアンプ回路の第１の電源端子は、前記第４のトランジスタのソース又はドレインの一方と電気的に接続され、
前記第３のトランジスタのソース又はドレインの他方は、前記電流源と電気的に接続され、
前記第４のトランジスタのソース又はドレインの他方は、電源線と電気的に接続され、
前記第５のトランジスタのソース又はドレインの一方は、前記第１のトランジスタのソース又はドレインの他方と電気的に接続され、
前記第５のトランジスタのソース又はドレインの他方は、前記第２のトランジスタのゲートと電気的に接続され、
前記容量素子の一方の電極は、前記第５のトランジスタのソース及びドレインと電気的に接続されている半導体装置。

【請求項５】
請求項４において、
前記第２のトランジスタのソース又はドレインの一方は、前記オペアンプ回路の入力端子と電気的に接続されている半導体装置。

【請求項６】
請求項４又は５において、
前記第１のトランジスタのゲートには、第１の信号が供給され、
前記第５のトランジスタのゲートには、第２の信号が供給され、
前記第３のトランジスタのゲートには、第３の信号が供給され、
前記第４のトランジスタのゲートには、第４の信号が供給され、
前記第１の信号と、前記第２の信号と、は互いに相補的な信号であり、
前記第３の信号と、前記第４の信号と、は互いに相補的な信号である半導体装置。

【請求項７】
請求項１乃至６のいずれか一項において、
前記第１のトランジスタは、チャネル形成領域に金属酸化物を有する半導体装置。

【請求項８】
請求項１乃至７のいずれか一の半導体装置と、ソーラーパネルと、を有する人工衛星。